

会員のひろば

■ 「センター入会10年」

岩里 良巳(北稲八間)

精華町シルバー人材センターにお世話になってから今年でまる10年が過ぎました。当初の事務所は今の祝園西一丁目にあり、最初の仕事はパソコンで資料の作成でした。キーボードに慣れないこともあり、思ったように作業が捗りません。額に汗をかきながら焦ったことを思い出します。

その後、当センターもパソコン教室を開設され、少しパソコンをかじった者が講師となり私もその一人に入れて頂きました。お陰でパソコンの基礎を勉強させて頂きました。

その講師の皆さんたちとホームページ作成の仲間入り、更に広報誌作成にも関わり、はばかりながらも今日までできています。ホームページも広報誌も如何に魅力的なものにするかいつも悩むところです。

総人口が減少するなか、4人に1人が高齢者である現在、平成47年には3人に1人、平成72年には2.5人に1人が65歳以上の高齢者となる社会が到来すると推定されています。そんな中、シルバー人材センターの存在が今後さらに重要となってくるでしょう。

現に第二の人生を考え、人材センターに入会されておられる方も多いのではないのでしょうか。今後魅力あるシルバー人材センターとして対応されて行かれることを切に望むところです。

小生も10年目を節目に、初心に戻って一歩いっぽ前向きに進んで行きたいと思っています。



■ シルバー雑感

佐竹 信夫(植田)

振り返れば、私が精華町シルバー人材センターにご厄介になったのは、記憶が正しければ約10年余りと思います。会社の定年後、しばらくは精華町役場主催による「男の料理教室」を始めとして、陶芸教室、若返り元気塾の「ウォーキング」「スイミング」「体操」と各教室に6か月間通っていましたが、その後は家にてブラブラしており粗大ゴミ扱いでした。

そんな時に精華町シルバー人材センター（当時たしか緑化協会と記憶しています）の就労者の募集広告を見て光台のスーパー隣の事務所を訪問して現山本課長様から色々ご指導を受け入会しました。いくつかの仕事をしましたが、他の恒常的な仕事がありましたので一旦退会して約7年間勤めたあと二度目の定年を迎え、平成19年10月に会員番号475番として再度入会をいたしました。

シルバーではなかなか仕事が無い様な事をよく耳にしますが、本来適材適所と言う様な希望通りの職種にはありつけるものではありません。私の場合も殆ど単独での仕事はありませんでしたが、如何にしてグループ内に溶け込み仲間との協力関係を築くかを心がけることが必要だと思えます。

そしてシルバー事務局よりの仕事の要請があれば、一度は必ず挑戦の気持ちで快く引き受け作業に携わる事が大切であると思えます。

私が今まで引き受けた仕事の内容は以下の通りです。公園の草引き、溝の泥上げ、屋敷内の草引き、会社の築山の草引き、会社内の発泡スチロールの整理、保育所の夜の門扉開閉作業、遺跡発掘作業、公道の草引き等かなりの作業を経験し現在特養老人ホーム神の園の宿直に従事しております。

現在の作業については長年勤めていることから、このほど制定された精華町シルバー人材センターの適正就業基準の適用を受け平成26年3月末日を以って任期満了になります。ご希望の方は事務局に申し出ていただき後釜としてよろしくお願い致します。お互い頑張りましょう。

